

能登島ガラスコレクション展

現代ガラス造形

～白と青の透明な美～



「ひそやかに」南 佳織 2000年

2010年12月4日(土)～2011年4月17日(日)

休館日◆年末年始12月29日(水)～1月1日(土)、2011年1月18日(火)、2月15日(火)、3月15日(火)

※ 変更する場合があります。おでかけの際は、事前にお問い合わせください

開館時間◆12月～3月は9時～16時30分、4月からは9時～17時 (入館は閉館の30分前までに)

観覧料◆一般800円、団体(20名以上)700円、中学生以下無料

展示会場◆石川県能登島ガラス美術館 A展示室、D展示室

他の展示◆B展示室/現代ガラス造形～色彩の美～、中国清朝のガラス工芸

C展示室/巨匠のデザインに基づくイタリアの現代ガラス作品、サルバドール・ダリとドーム社のガラス作品

主催◆七尾市、(財)能登島ガラス美術館振興財団



石川県能登島ガラス美術館
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10
TEL◆0767-84-1175 FAX◆0767-84-1129
URL◆<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/>

能登島ガラスコレクション展

現代ガラス造形～白と青の透明な美～



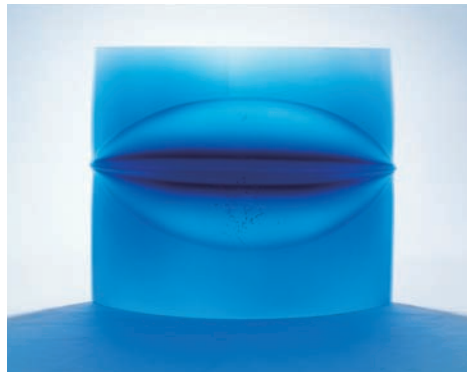
「NAMIDA」ウラジミール・クライン 1998年



「月光と地平線の軌跡」岸厚男 1995年



「黒いボールのある水槽」
クレッグ・カレンバーガー 1995年



「壁」張慶南 2002年



「MONOLOGUE」扇田克也 2002年

所蔵品から透明な美をテーマに、現代のガラス造形作品を紹介します。

本展でいう「透明」とは、ガラスの表面に曇りがなく、内部がそのまま見える状態から、ガラスの表面がすりガラス状で、光が透けて見える程度までも含めた幅広い意味での「透明」を意味します。

ガラスは、表面処理や形態の凹凸などにより、微妙に透明感が変わります。曇り一つない無色透明な輝きは、氷のような冷たい表情を見せながら、万華鏡のような反射で見る者を感じさせます。

一方、表面がすりガラス状になったガラスは、温かみを感じさせ、当てられた光を内部に溜め込み、ゆっくりと静かに語りかけるような光を放ちます。

冬の季節、白や青の純粋で深みのある透明なガラス作品をご覧いただき、様々なイメージの世界をお楽しみください。



交通案内

- ◆電車・バス/JR和倉温泉駅前から能登島交通「のとじま臨海公園行き」バスに乗車、約30分後「美術館前」下車すぐ。
- ◆自動車/能登有料道路の徳田大津J.C.T.経由、能越自動車道の田鶴浜料金所を過ぎ、和倉I.C.で左折し、約20分。
- ◆飛行機/能登空港から「ふるさとタクシー」で約1時間。片道1,300円。要予約。

関連イベント

◆わくわくワークショップ 「ガラスで彩るクリスマス

ジェルキャンドル&ツリー飾り作り

ガラスの器で透明なキャンドルを作ります。さらに透明プラスチック板で、オリジナルのツリー飾りを作り、ワイヤーアーティストの中山明美さんが作った巨大なクリスマスワイヤーツリーに飾りつけをします。

場所◆ガラスドーム1F会議室(D展示室)

開催日◆12月11日(土)、12日(日)

時間◆10:00～11:30、13:30～15:00

対象◆どなたでも・予約不要

参加費◆500円

(高校生以上の方は別に観覧料が必要です)

講師◆ジェルキャンドル作り・池田孝子さん

協力◆ワイヤーツリー制作・中山明美さん

ワイヤーツリーの展示は、12月5日から始まります。

◆ガラスドーム2Fロビーの展示

季節に合わせた催しやガラスの小作品を紹介しています。能登島ガラスコレクションと合わせて、お楽しみください。

12月から1月は、ワイヤーアーティストの中山明美さんが制作した約2メートルの巨大ワイヤーツリーを中心に他のワイヤー作品も展示します。またあわせて、ガラスの干支や正月飾りの展示も予定しています。

◆1月2日、3日は先着50名様にプレゼント!

新年は2日からの開館です。お正月もガラス美術館でお過ごしください。

◆のとじまガラス・スタイル

「ガラスで楽しむ中国茶&中国結び」

ガラスのティーセットで見て楽しむ中国茶を味わいながら、ガラス玉を飾りにした中国結びを作ります。

場所◆美術館喫茶店「玻璃」(入場無料)

開催日◆2月18日(金)、19日(土)

時間◆14:00～16:00

対象◆20歳以上の方・要予約

参加費◆1,000円

(お茶代、材料費が含まれています)

◆次回展覧会◆

開館20周年記念企画展

「中国清朝のガラス工芸

～乾隆帝、西太后が愛した玻璃の器～」仮題

2011年4月23日(土)～6月26日(日)予定

ガラス芸術の中でも異彩をはなち、19世紀末、アール・ヌーヴォーの巨匠エミール・ガレにも影響を与えた中国清朝時代のガラス工芸品約200点を一堂にご紹介します。



〒926-0211石川県七尾市能登島向町125-10

TEL◆0767-84-1175 FAX◆0767-84-1129

URL◆<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/>